

# 批判的読みの授業における読み書き関連的指導の研究

教科・領域教育学専攻

言語系（国語）コース

M10119E

高見 秀樹

## 1. 研究の目的

本研究の目的は、説明的文章の批判的読みの授業における読むことと書くことの関連指導（以下、読み書き関連的指導）の特徴を分析し、そのあり方を明らかにすることである。このため、以下の4点の課題を設定している。

1. 説明的文章の授業における従来の読み書き関連指導の特徴を明らかにする。
2. 先行研究や従来の読み書き関連指導、PISA型読解力のプロセスとの比較から、批判的読みの授業における読み書き関連的指導の特徴を明らかにする。
3. 批判的読みの先行実践から読み書き関連的指導の全体的な傾向や学年段階における傾向、学習指導過程（三読法）における傾向を分析する。また三読法における各段階の批判的読みによる読み書き関連的指導の機能の分析から特徴を明らかにする。
4. 論者の授業実践を考察対象として、批判的読みの授業における読み書き関連的指導の有効性や傾向、分析の過程で導き出された課題のいくつかを検証し、その実際からあり方を探る。

## 2. 構成

(1) 先行研究・実践にみられる従来の読み書き関連指導の特徴の検討

- ①従来の読み書き関連指導の方法と活動内容
- ②従来の読み書き関連指導の特徴

(2) 批判的読みの授業における読み書き関連的指導の特徴の検討

- ①批判的読みの有効性
- ②先行研究にみられる批判的読みの授業における読み書き関連的指導の特徴
- ③従来の読み書き関連指導との比較
- ④PISA型読解力のプロセスとの比較
- ⑤批判的読みの授業における読み書き関連的指導の

## 特徴と課題

(3) 批判的読みの先行実践にみられる読み書き関連的指導の傾向と三読法における各段階の機能の分析

- ①分析方法と分析の観点の設置
- ②全体的な傾向の分析
- ③学年段階における分析
- ④学習指導過程（三読法）の各段階における分析
- ⑤先行実践の分析の成果と課題

(4) 批判的読みの授業における読み書き関連的指導の実際と考察

- ①分析によって導き出された課題の整理
- ②教材と単元の特徴
- ③学習指導計画
- ④三読法の各段階における批判的読みの読み書き関連的指導の機能と単元構成の関係

- ⑤授業実践の分析と考察
- ⑥授業実践の成果と課題

(5) 研究の成果と課題

## 3. 研究の概要

(1) 従来の読み書き関連指導の特徴

【特徴】表現力をつけることが目的

…学習で得た論理的に書く能力を自らの表現活動に転移させる。(読み書き関連<大>)

…書き手の論理の把握、書き手の論理に対して自分の考えをもつ。(読み書き関連<小>)

従来の読み書き関連指導の流れは、図1のように考えられる。書き手の論理や表現を学習者が認識し、自分の表現として生かしていくには、読み書き関連指導<小>が重要である。

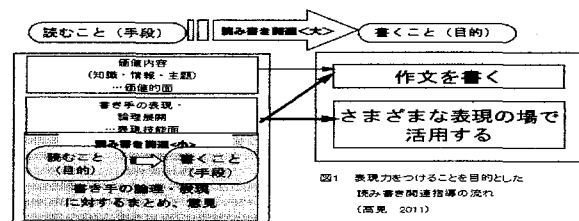


図1 表現力をつけることを目的とした読み書き関連指導の流れ (高見, 2011)

(2) 批判的読みの授業における 読み書き関連的指導の特徴

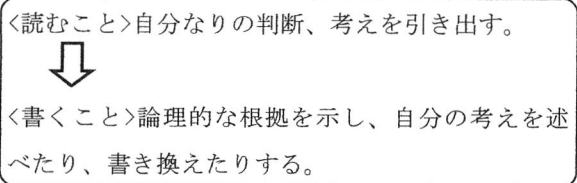
【読み書き関連的指導の意図】

- 論理的に思考し、自分なりの読み（評価、考え）を表現させる。
- 自分の論理で書き換えさせる。(付加・修正も含む)

【読み書き関連的指導の有効性】

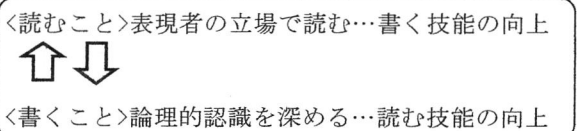
- 論理的思考を中核に読むことから書くこと（表現）まで一連の過程ととらえる。

<理解と表現の一体化>



- 読む技能と書く技能を相互的に高めることができる。

<読むことと書くことの相互効果>



- 自己内対話を促し、認識（既有知識や見方）を変容させる。
- 自分の論理に基づいた文章を生み出すことができる。(表現力の向上)
- 学習者を主体とした学習展開を図ることができる。

(3) 先行実践にみられる読み書き関連的指導の傾向と学習指導過程（三読法）の傾向、機能

- 低・中・高学年段階に応じて批判的読みの内容、それともなう書く活動には系統性がある。

※（読）は読むこと、（書）は書く活動

- ・低学年…（読）内容把握を中心、（書）筆者の意図の推測など
- ・中学年…（読）論理に着目、（書）論理に対する評価や考え
- ・高学年…（読）筆者に着目、（書）筆者の論、主張などに対する評価や考え

- 学習指導過程（三読法）における各段階の主な傾向と機能

- ・通読段階…読みの構え作り、反応の導き出し
- ・精読段階…論理や表現の分析、内容や構造の正

確な把握

- ・まとめ読み段階…筆者の伝え方や主張に対する考えの引き出し、学習の過程の振り返り

(4) 読み書き関連的指導の実際と考察

授業実践は、小学校5年生を対象に教材「コウノトリが教えてくれた」（三省堂）を用いて実施。

4. 批判的読みの授業における読み書き関連的指導のあり方

- 理解と表現の一体化
- 読む技能と書く技能の相互効果
- 表現力の向上
- 論理をとらえる技能の習得→他の場での活用
- 学習者を主体とした学習展開

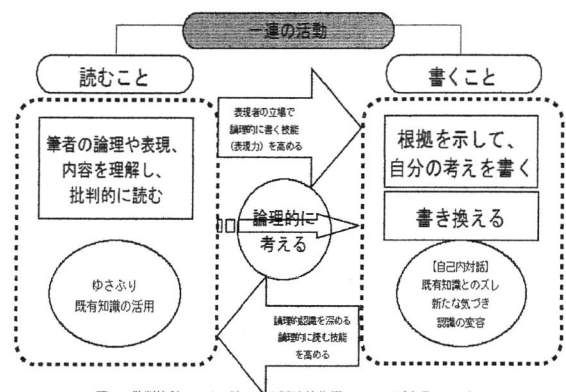


図2 批判的読みによる読み書き関連的指導のイメージ(高見 2011)

5. 今後の課題

- (1) さまざまな批判的読みの授業における読み書き関連的指導の可能性を探る。

- ・授業実践では検証できなかった観点の実践
- ・学年段階の系統性を考慮しつつも、教材の特性や難度に応じた柔軟的な指導、批判的読みの内容面からの系統性
- ・低学年段階の批判的読みによる読み書き関連的指導

- (2) 学習者の読みの観点を開発する。

- (3) 実際に学習者が書いたものを通して、表現力の向上を検証する。

主任指導教員

堀江 祐爾

指導教員

吉川 芳則